

CASIO

DT-870/DT-5100

自動復旧ツール解説書

Ver1.00

Copyright© 2003 CASIO COMPUTER CO., LTD.

All rights reserved.

CASIO

目次

§ 1 . 概要	1
§ 2 . 運用手順	2
2 - 1 初期設定作業（システム管理者作業）	2
2 - 2 実運用作業（ユーザー作業）	3
2 - 3 退避 / 復元リソース	3
§ 3 . 機能詳細および操作	4
3 - 1 バックアップ	4
3 - 2 リストア	6
3 - 3 ログ機能	8
3 - 4 リストア時のスキップ機能	8
3 - 5 エラーについて	8
3 - 6 注意事項	8

§ 1 . 概要

自動復旧ツール (restore.exe) は、電池消耗等により R A M 上のファイルやレジストリ等が消失してしまった場合に自動的に元の状態に戻すためのツールです。

このツールでは、バックアップツール (cf_backup.exe) を使って

- (1) システムデータのバックアップ
- (2) システムデータのリストア
- (3) ユーザが指定するセットアップアプリの自動実行

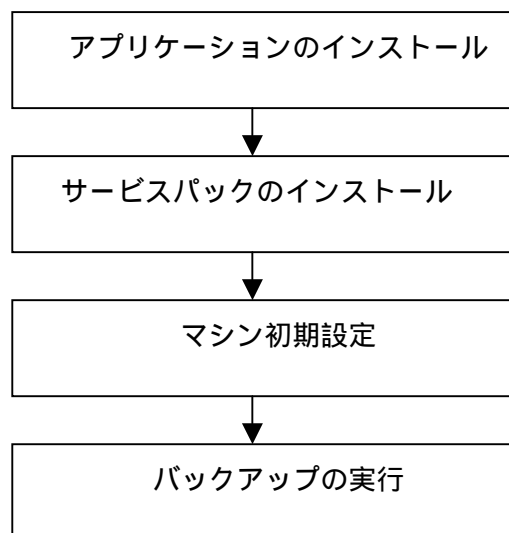
を行います。バックアップ時は、restore.exe を実行すると、自動的にバックアップツールを起動し、バックアップを実行します。リストアの時は、フルリセット後のシステム起動時に自動的に起動し、バックアップツールを起動してリストアを実行します。また、リストア後のシステムの再起動時、ユーザが指定するセットアップアプリがある場合、これらのアプリを自動実行します。バックアップツールの起動・操作を自動化することが本ツールの目的となります。

自動復旧ツールは、サービスパックがインストールされていないと使用することはできません。

§ 2 . 想定運用

自動バックアップツールを使用する際には、以下のような運用手順となります。

2 - 1 初期設定作業(システム管理者作業)



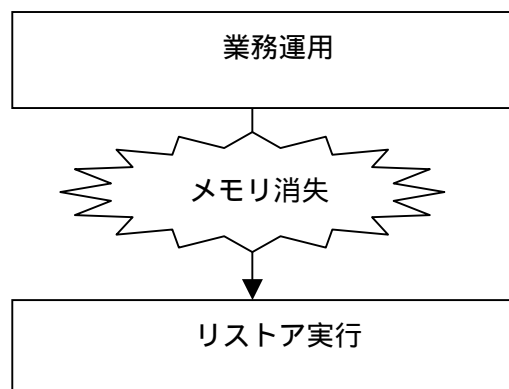
DT-5100/DT-870 の RAM あるいは FlashDisk にアプリケーションをインストールします。
DT-5100/DT-870 の FlashDisk にサービスパックをコピーし、サービスパックの SETUP.EXE を実行します。(サービスパックのインストール方法については、サービスパックインストール手順書をご参照ください。)

SS 無線設定や IP アドレス等の初期設定を行います。

RESTORE.EXE を用いて、FlashDisk にバックアップを取ります。

- 1 既に運用されているマシンで自動バックアップツールを使用する場合、 は必要ありません。
- 2 既にサービスパックがインストールされているマシンの場合、 は必要ありません。

2 - 2 実運用作業(ユーザー作業)



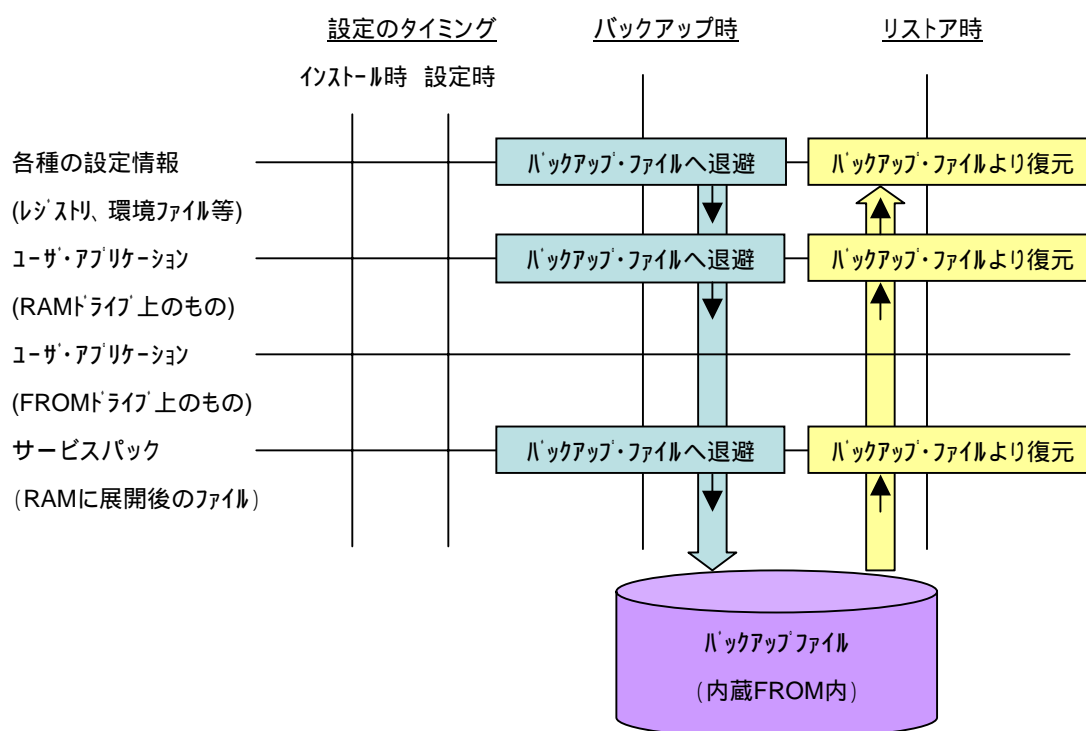
実業務を行います。

必要に応じて、バックアップツールにてバックアップを取ります。

電池消耗等で RAM 上のメモリが消失。

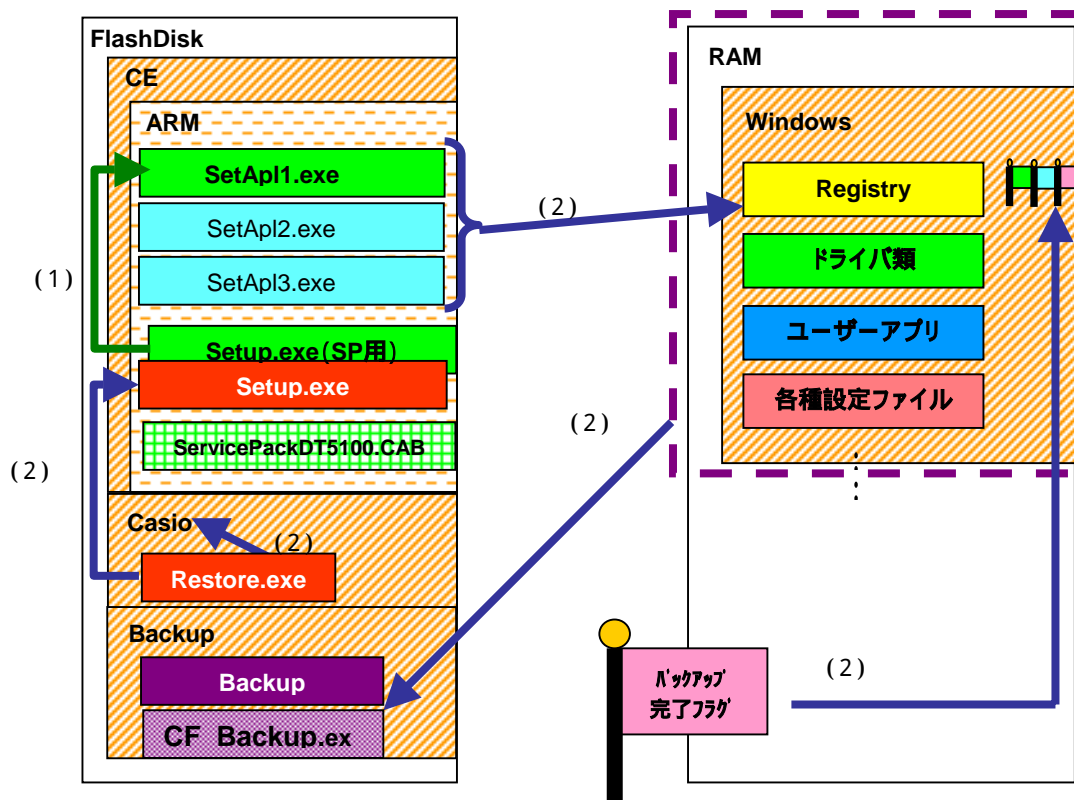
RAM 上のメモリが消失した場合、電源 ON 時に自動的に自動復旧ツールが起動し、FlashDisk 上のバックアップデータを RAM 上にリストアし復旧します。

2 - 3 退避 / 復元リソース



§ 3 . 機能詳細および操作

3 - 1 バックアップ



Setup.exe がリストア用のプログラムとして使用されるため、ユーザーが使用できる自動セットアッププログラム名を用意しています。

バックアップは次の動作により行います。

- (1) “ ¥FlashDisk¥CE¥ARM ” フォルダにサービスパックインストール用 “ Setup.exe ” が存在する場合、“ SetApl1.exe ” に手動でリネームします。
あらかじめユーザーアプリとして “ Setup.exe ” を用意していた場合には、“ SetApl2.exe ” または “ SetApl2.exe ” に手動でリネームします。
- (2) “ ¥FlashDisk¥CASIO ” フォルダにある “ Restore.exe ” を手動で実行します。

起動されると、“ ¥FlashDisk¥CE¥ARM¥ ” 以外のフォルダで実行されていることを確認し、バックアップモードに移行します。

ユーザセットアップアプリが所定のフォルダにある場合、これらを以下のレジストリに登録します。

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥Drivers¥CASIO¥UTIL¥FLSETUP]

"1"="¥CE¥ARM¥SetApl1.exe"

"2"="¥CE¥ARM¥SetApl2.exe"

"3"="¥CE¥ARM¥SetApl3.exe"

ユーザセットアップアプリの名前と保存場所：

名前：SetApl1.exe, SetApl2.exe, SetApl3.exe

フォルダ：¥FlashDisk¥CE¥ARM¥

カードバックアップツールを自動的に起動し、バックアップを行います。



バックアップが終了します。

(カードバックアップツールの終了メッセージボックスの表示内容からバックアップの成功/失敗を判別し、メッセージボックスを自動的に閉じます。)

"¥Windows¥CF_Backup.exe" をコピーして、ファイル属性を「隠しファイル」、名前と場所は "¥FlashDisk¥Backup¥CF_Backup.exe" に変更して保存します。

自分自身 (Restore.exe) を "¥FlashDisk¥CE¥ARM¥Setup.exe" にリネームしてコピーします。

バックアップが完了したことを表すフラグ情報を以下のレジストリに保存します。

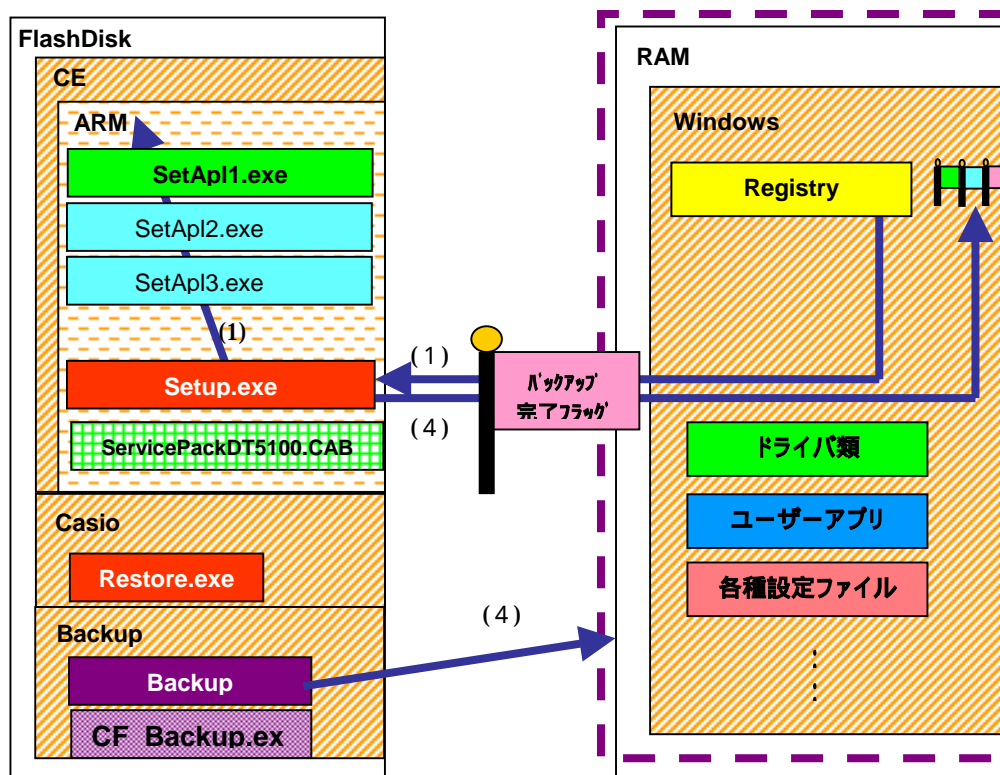
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥Drivers¥CASIO¥UTIL¥RESTORE]

"RestoreFlag"=1

(3) 終了メッセージが表示されます。ユーザは確認画面の「OK」をタップし、本ツールを終了します。



3 - 2 リストア



リストアは次の動作により行います。

- (1) フルリセット後、システムが起動し、Welcome 画面が表示されてから約 10 秒後、“¥FlashDisk¥CE¥ARM¥Setup.exe” にリネームしてコピーされた本ツールがシステムから呼び出され、自動的に起動します。



(左記は DT-5100 の画面例です。)

“¥FlashDisk¥CE¥ARM¥”フォルダで実行されていることを確認し、リストアモードに移行します。

以下のレジストリ情報が読めないことをチェックし、メモリ情報が消去されているこ

とを確認します。メモリ情報が残っていた場合、リストアを行わずに終了します。

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥Drivers¥CASIO¥UTIL¥RESTORE]

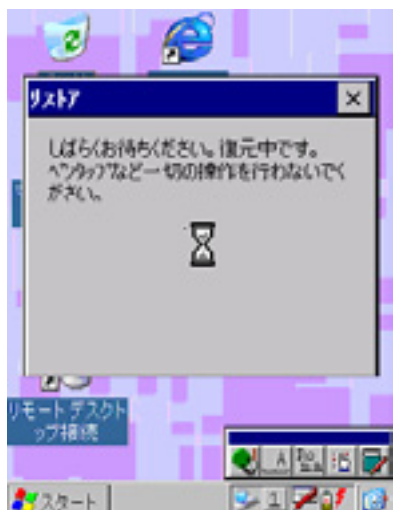
"RestoreFlag"=1

Welcome 画面を自動的に閉じます。

- (2) キャリブレーションデータ(¥FlashDisk¥Calibrate.dat)がない場合、キャリブレーション設定画面が表示されます。画面の指示にしたがってキャリブレーション設定を行います。
- (3) 日付/時刻設定画面が表示されます。設定を行い、[OK]をタップして画面を閉じます。
(完全放電の場合、日付時刻も初期値に戻る場合があるので、必ず確認してください。)



- (4) バックアップ時に "FlashDisk¥CASIO" にコピーしたカードバックアップツールが自動的に起動され、リストアを行います。



リストアが終了します。

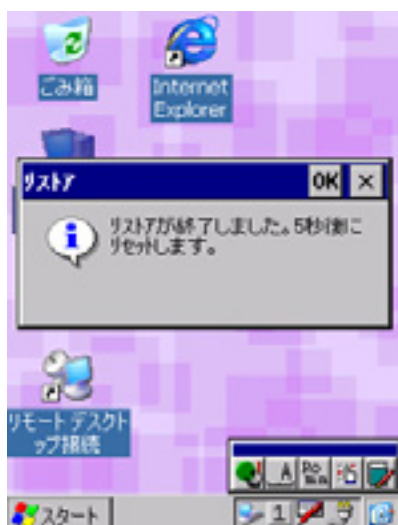
- (カードバックアップツールの終了メッセージボックスの表示内容からリストアの成功/失敗を判別し、メッセージボックスを自動的に閉じます。)

以下のレジストリにリストア完了情報を保存します。

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥Drivers¥CASIO¥UTIL¥RESTORE]

"RestoreFlag"=1

(5) リストア終了のメッセージが表示されます。その 5 秒後にリセットを実行します。 .



(6) システムの再起動後、ユーザセットアップアプリが自動実行されます。
(SetApl1.exe、SetApl2.exe、SetApl3.exe が存在した場合。)

3 - 3 ログ機能

¥FlashDisk¥CE¥ARM¥Restore.log にログを保存します。バックアップ/リストア合わせて最大 30 回分保持し、30 回を超えたときは古いログから削除されます。

3 - 4 リストア時のスキップ機能

リストアモード起動時に、[5]キーが押されていた場合、短いブザー音がなり、処理をスキップして終了します。

3 - 5 エラーについて

次の条件の時、エラーが起こります。

- ローバッテリー状態でバックアップ/リストアを行ったとき。
- FlashDisk の空き容量が足りない状態でバックアップを行ったとき。
- メモリの空き容量が足りない状態でバックアップ/リストアを行ったとき。

3 - 6 注意事項

- 本ツールは本体に Service Pack 1.00 以降がインストールされていなければ動作しません。
- 本ツールにおいて、リストアを行う際、OS のアプリ自動実行機能を使用しています。
このため、バックアップの際に “ ¥FlashDisk¥CE¥ARM ” フォルダに “ Setup.exe ” というファイルを強制的に書き込む仕組みになっています。
すでに “ ¥FlashDisk¥CE¥ARM ” で “ Setup.exe ” という名前のファイルを使用している場合、以下の名前にリネームしてください。

サービスパック用 Setup.exe : SetApl1.exe

ユーザー作成の Setup.exe : SetApl2.exe または SetApl3.exe

HANDY TERMINAL DT-870



CASSIOPEIA DT-5100

カシオ計算機株式会社

〒151-8543

東京都渋谷区本町 1-6-2

システムソリューション営業統轄部